令和6年度 評価規準

教科 家庭科 学年 第 2 学年

当一夕	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
単元名			知識•技能	思考·判断·表現	主体的に学習に取り組む態度
B 衣食住の生活(食の生活) 3 さまざまな食品とその選択 ・ 生鮮食品の選択と保存・ 加工食品の選択 ・ 食品の安全と情報	6	取り選択できるようにする。	見方保存方法を理解している。 ・加工食品の特徴について理解している。 ・食品の安全を保つ仕組みについて理解している。	理解し用途に応じた選択について考え工夫している。	・食品選択における、自分の判断方法を振り返り改善しようとしている。 ・食品の安全や情報から選択について振り返って改善しようとしている。
4、日常食の調理 ・調理の計画 ・おいしさと調理 ・肉の料理 ・魚の料理 ・野菜の料理	18	の性質を生かした調理の要点をまとめる。・調理に必要な手順や時間を考え、調理を工夫する。・調理実習の準備をする。・ ・ 安全と衛生に気を付けて到理をする。・ 「おいしさ」とは何だろうか。 考えてみよう。・ 肉の特徴と調理上の性質を理解して調理計画を立る。・ 魚を美味しく安全に調理す	と衛生に留意した管理について理解しているとともに,適切にできる。 ・材料に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに,基礎的な日常食の調理が適切にできる。	て問題を見いだして課題を 設定し、実践に向けた計画 を考え、工夫している。 ・「おいしさ」について、今ま での学びを総合的に振り返 り考える。 ・調理に合ったつけあわせを 工夫する。 ・調理の手順を見直し課題を	る。

令和6年度 評価規準

C 消費生活・環境 ・家庭生活と消費 ・消費生活のしくみ ・家庭生活における収入と 支出 ・購入・支払いと生活情報 ・消費者被害と自立 ・持続可能な生活	9	・三者間契約の仕組みについて理解する。 ・消費者に関わるトラブルなどの実際の例を取り上げ、その解決方法について考える。 ・実際の消費生活と結び付	・消費者トラブルの事例とそ の対応について理解してい る。	している。	
生活の課題と実践		・学習してきたことを生かし、 改善する点や課題はない か、自分や家族の食生活を 見直す。 ・課題を解決したり、より豊か な生活にしたりするための工 夫を考え、計画を立て実践 する。		・自分や家族の食生活や消費生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	費生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、 振り返って改善したりして、 生活を工夫し創造し、実践し